

## 外交・安保政策に関する 内外の不安を晴らすことが先決

金子将史

PHP 総合研究所主任研究員

2009.9.2

外交・安全保障政策が、来るべき鳩山新政権に対する国内外の大きな懸念材料であることは、あらためて言うまでもない。民主党が現状維持的な路線をとるのか、あるいは相当な政策転換をはかるのか、判断に足る材料は今のところないが、この際、採用される蓋然性は度外視して、新政権が何を行うべきか論じることになろう。

まず第一に、日本の対外政策の基本線をあらためて確認し、内外の不安を晴らすことが先決である。対米関係を対外政策の基軸とすること、東アジアの一員として地域の平和と繁栄に努力すること、日本防衛についての自らの能力を向上すること、侵略行為は当然行わないが国際平和活動には積極的に役割を果たすこと、自由で開放的な国際経済体制を支持すること、といった基本路線は、民主党でも大きくは変わらないはずである。

政権交代は政策転換の機会だが、外交・安全保障政策については、日本の国際的立場や安全保障環境からみて、おのずから収まるべき一定の幅というものがある。今後政権交代を定着させるためにも、そうした幅をまず確認し、日本の対外政策のファンダメンタルズを安定させるべきではないか。核廃絶の強調や外交密約問題など民主党が重視している政策を展開することは、基本を押さえた上でのことでなければならない。

第二に、「緊密で対等な日米関係」を目指すことはよいとして、それは地位協定や米軍再編問題等について米国に要求するばかりでなく、グローバル、リージョナルな諸課題について日米が総合的に協力する在り方を提案していくものであるべきだろう。筆者を含む超党派の松下政経塾出身者による提言『日米同盟試練の時』が求めた「広範でバランスのとれた同盟への進化」こそが必要である。<sup>i</sup>海上自衛隊のインド洋給油は、日本の国際的な役割と対米協力が両立する費用対効果の高い施策であり、継続が望ましいが、それを止めるというなら、相応の対案が必要である。グローバル化した経済を、日米をはじめとする主要国がいかに管理していくか、具体的な方策を示すことも欠かせない。『Voice』誌やニューヨーク・タイムズに掲載された鳩山論文のように、グローバリゼーションを批判するばかりでは無責任である。<sup>ii</sup>

第三に、東アジア外交では、やみくもに理想を掲げるのではなく、現実をよく見定めながら、新基軸を打ち出していくべきであろう。米国を刺激するような東アジア秩序構想は、中国にとっても望むところではない。各国の利害認識やパワーの現実に即さない構想は、言葉遊び以上のものではない。

第四に、日本の近隣外交を左右してきた歴史問題については、非争点化をはかるべきである。過去を清算したい気持ちは分らないではないが、現実には、そうした試みは国内での「大反動」をもたらし、それが対外関係を緊張させる悪循環をもたらすだろう。政治は、心情倫理ではなく、責任倫理を優先すべきであり、歴史問題を全面解決したいという誘惑に屈してはならない。

最後に、鳩山内閣は、日本の安全保障政策をしばってきた法的な諸制約と決別していくべきである。今日の国際安全保障上の課題は、平和構築にせよ、海賊対処にせよ、災害救援にせよ、各国が軍事力を含む様々な資源を出し合って共同で対応することが常態化している。自衛隊派遣だけにこだわることはないが、国際安全保障課題の解決に必要なことは何かという観点で、自衛隊を含む様々な資源を効果的に組合せていくことが肝心であり、それには裏づけとなる恒久法／一般法の制定が不可欠である。ミサイル防衛等の新しい脅威への対処についても、従来のような集団的自衛権の行使・不行使を超えた議論が必要ではないか。憲法改正を含め、自衛隊の位置づけのバージョンアップは、むしろ民主党主導で実施する方がコンセンサスを得やすいだろう。

現実には、外交・安全保障政策についての大きな判断は、法律の期限が切れるインド洋給油等にとどめ、来年の参議院選挙以降まで先延ばしにするのが落ち着きどころと思われる。民主党にとっては、来年の参議院で過半数を制し、その後 3 年間の政権運営を安定させることが当面最大のゴールである。したがって、国民を不安にさせる非現実的な政策を展開するわけにはいかず、さりとて、連立がごたつくことも避けたいはずだ。では、民主党政権が、参議院選を乗り切れたとして、力強い外交・安全保障政策を展開できるかどうか。それは、政権党になった鳩山民主党が、参議院選までにどれだけ党内の意見を集約できるかにかかっている。

---

<sup>i</sup> <http://www.mskj.or.jp/ronbun/sympoteigen3-1.pdf>

<sup>ii</sup> <http://voiceplus-php.jp/archive/detail.jsp?id=197>